

# 令和8年度社会保障関係予算のポイント（概要）

- 令和8年度の社会保障関係費は、前年度から+7,600億円程度の39.1兆円程度。様々な制度改革・効率化努力を積み重ねることにより、実質的な伸びを高齢化による増加分に抑えた上で、経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算。

## 令和8年度診療報酬改定、薬価等改定

- 令和8年度診療報酬改定は、データに基づく施設類型ごとの費用構造を踏まえたきめ細やかな物価対応や令和8・9年度にベースアップ3.2%を実現できる賃上げ対応を実施し、経済・物価動向等に的確に対応。物価・賃上げ対応に当たり、施設類型ごとのメリハリある配分をはっきりと分かる形で実現するとともに、令和8・9年度の改定率をそれぞれ定め、段階的にきめ細かく対応。改定率は、+3.09%（2年度平均。令和8年度+2.41%、令和9年度+3.77%）。
- また、薬価等改定については、創薬イノベーションの推進や医薬品の安定供給の確保を図りつつ、市場実勢価格を反映。改定率は、▲0.87%。

## 令和8年度介護報酬改定、障害福祉サービス等報酬改定

- 現場で働く方々の処遇改善のため、期中改定として、①介護従事者及び障害福祉従事者を対象に、幅広く月1.0万円の賃上げを実現する措置、②生産性向上や協働化に取り組む事業者の職員を対象に、介護は月0.7万円、障害福祉サービス等は月0.3万円の上乗せ措置を実施。介護保険施設等において食費の基準費用額を引き上げ（1日当たり100円）。改定率は、介護報酬+2.03%、障害福祉サービス等報酬+1.84%。

## 社会保障制度改革の推進

- 「社会保障改革の新たなステージにおいて、現役世代の保険料率の上昇を止め、引き下げていくことを目指す」との方針に基づき、令和8・9年度を通じて、歳出改革を中心に取り組み、令和9年度の社会保障負担率が令和7年度と比較して上昇しないよう取り組む。OTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直し、高額療養費制度の見直しなどの医療保険制度改革や、有料老人ホームの入居者に係る利用者負担の導入などの介護保険制度改革に取り組む。

## こども・子育て政策の抜本強化

- 「こども未来戦略」加速化プランを着実に実施し、約9割（予算規模3.6兆円のうち3.2兆円程度）を実現。こども誰でも通園制度の本格実施、フリーランス等の方の育児期間中の年金保険料免除などを実施。

	7年度	8年度	増減
社会保障関係費	382,938	390,559	+7,621 (+2.0%)
恩給関係費	623	493	▲ 130 (▲20.8%)